

元気で活力ある八街市を！

誠和会……山本 義一



総武本線快速電車の増発について

問 快速電車増発のための取り組みと、今後の予定について伺う。

市長 総武本線成東・佐倉駅間快速電車増発推進協議会を設置し、快速電車増発の実現を目標とした活動を展開しています。今後JR側との協議を粘り強く重ねていきます。

特定健康診査について

問 特定健康診査の受診状況を伺う。

市長 対象者1万6千719人に対し、受診者は4千12人で、受診率は24パーセントです。後期高齢者医療健康診査の受診状況は、対象者5千368人に対し、受診者は821人で、受診率は15・3パーセントです。この新しい制度を市民の皆さんに積極的に活用していただけるようPRし、受診率向上に努めていきます。

問 前立腺がんの検診を市の成人対象のがん検診に取

予定及び完成年度を伺う。

市長 平成18年の前立腺がんによる死者数は9千527人です。平成32年には8万人近くに増加し、肺がんに次ぐ男性のがんの2番目になると予測されているため、早期に発見し、適切な治療につなげることが重要です。本市としても、既に実施している他団体の状況等を参考に今後検討したいと考えています。

特定保健指導 ゆる体操



道路問題について

問 八街バイパス用地取得の進捗状況と、今後の工事

活躍する防犯パトロール

誠和会……湯浅 祐徳



安全・安心について

問 市内の各地で結成されている防犯パトロール隊や、ボランティアで活躍している防犯パトロール隊を支えるため、市は積極的にこれらをサポートすべきと考え。例えば、事件発生後の連絡方法、発生した事件の各パトロール隊への情報展開は如何か。

また、ボランティア組織を後押しする体制づくりの進捗状況はどうか。

市長 自分たちの地域は自分たちで守るという意識のもと、市内で活躍される防犯パトロール団体の活動による効果は計り知れないものがあります。市としても、これらの活動に必要となる帽子や腕章、マグネットシートなどを支給しています。

また、事件発生後の情報については、公開できる事案の内容は、市や防犯パトロール隊にメールやFAXによる情報が佐倉警察署から配信されており、これら

の情報を中心に、市並びに防犯団体の皆様の「見せる防犯活動」に活用しています。

ボランティア組織の体制づくりとしては、区長会議やさくら防犯パトロールの情報交換会等で呼びかけており、佐倉警察署からも積極的に協力いただける団体の結成に対する支援をしているところ です。

榎戸サッカー場の利用について

問 榎戸サッカー場が完成し、10年近くになるが、地元の方から「サッカー場だけでは、あの施設はもったいない。曜日を限定されてもいいから多目的な広場として開放できないか」という声が大分上がっている。北区も現在4地区あり、スポーツ団体も多くある。榎戸サッカー場の利用実態を踏まえ、多目的広場として地域住民へ開放することができないか伺う。

教育長 榎戸サッカー場は、サッカーを通して市民

の心身の健全な発達に寄与するため設置された有料の運動施設です。市内唯一のサッカー場としての利用促進を図ると共に、有効利用について検討していきたいと考えています。

道路問題について

問 榎戸区域内には、まだ多くの補修が必要な場所が残っている。特に通学路でもある榎戸クリニク前から八街北小学校へ行く道路は、仮補修のままで、土嚢の破れなどから、一日も早い早急な補修が必要と考えるが如何か。

市長 本格的な補修にあたっては、新年度予算での対応を考えていますが、その間、道路の巡視を十分に行い、土嚢の補充などにより、安全な通行を確保していきたいと考えています。

その他の質問

防犯パトロール隊の情報交換や活動の拠点となる詰所等の整備について